

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

益城町長

市町村名 (市町村コード)	益城町 (43443)
地域名 (地域内農業集落名)	福原 (畑中・田中・谷川・福原・内寺・川内田北向・川内田日向・柳水・袴野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月28日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当該地域は、水稻や露地野菜、果樹の栽培が盛んな地域である。

イノシシ、シカ、アナグマ、ハクビシンなどによる鳥獣被害が多く、被害が拡大している。

耕作者の高齢化や農業後継者が不足している。

農機具の価格高騰で機械の更新ができないことや資材・肥料・農薬と価格高騰が続いている。

耕作を頼まれる耕作地が増えて機械が追いつかない。

耕作放棄地が増えている。

水稻用の堰を圧力ゲートに変えてほしい。

主な作物: 水稻・果樹類など

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稻などの安定生産を見据え人手不足の解消のために新規就農者や移住者などが農業に入りやすい環境の整備を検討していく。

現状の後継者不足や機械の共同利用など機械の価格高騰に対応するために営農組織の結成など共同で進められることを検討していく。

鳥獣害被害が拡大しないように効果的な対策を引き続き検討していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	52.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	52.4 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域内の農振農用地を本計画の区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地を減らしたい人と増やしたい人のマッチングを推進する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
—
(3)基盤整備事業への取組方針
耕作環境の整備(用水路・堰)を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
農業高校・農業大学の学生など、学生に農業に触れてもらい、そこから、担い手育成の機会を得ることを検討していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
—

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

鳥獣被害が拡大しているので既存の対策を含め効果的な対策を検討していく。
無農薬・無肥料など高付加価値化した農産物をブランド化して収益が上がるような農業を検討していく。